

循環器病の現状について

三重県 医療保健部 医療政策課

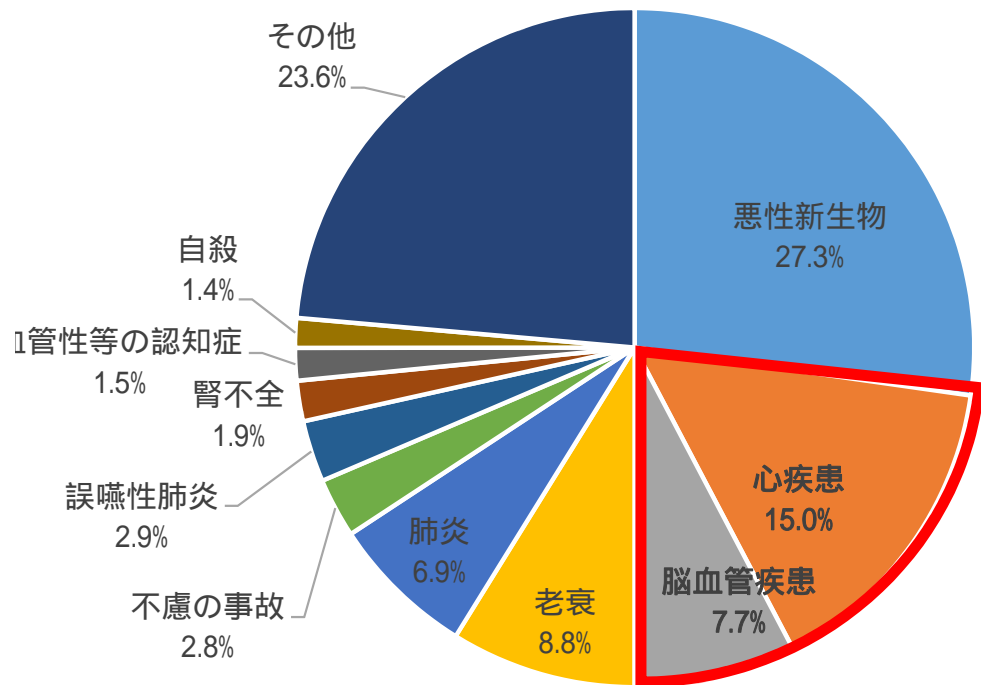
1. 死亡原因における循環器病の割合

心疾患及び脳血管疾患は、全国・三重県とも主要な死亡原因である。

2019（令和元）年の人口動態統計によると、全国・三重県とも心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第4位であり、両者を合わせた循環器病は、悪性新生物（がん）に次ぐ死亡原因である。

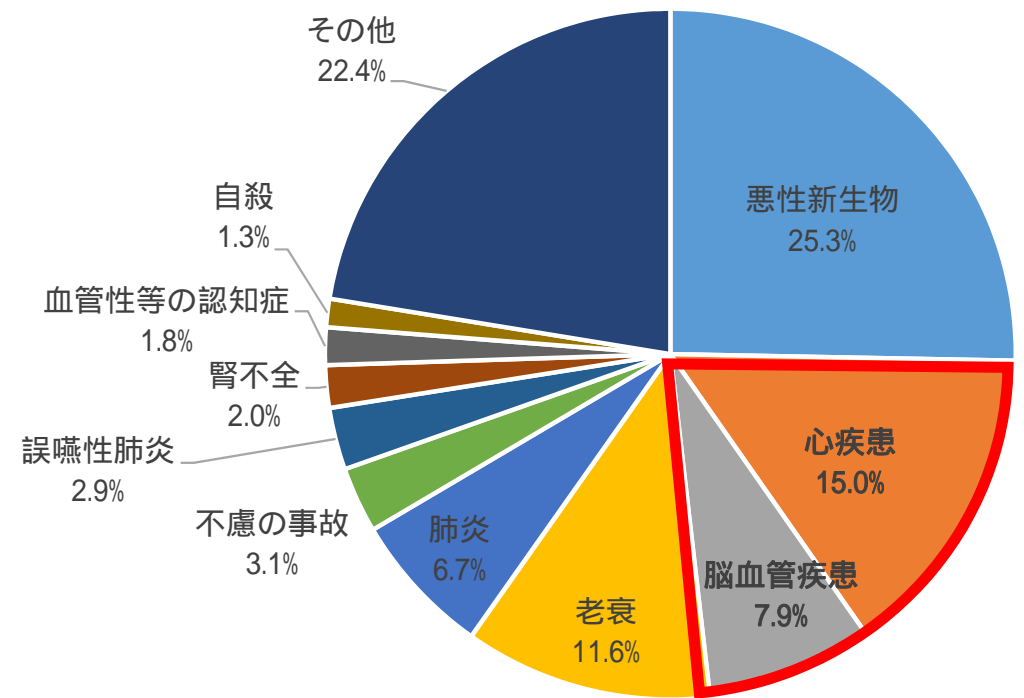
2019(令和元)年の死亡原因内訳

【 全国 】



循環器病
22.7%

【 三重県 】

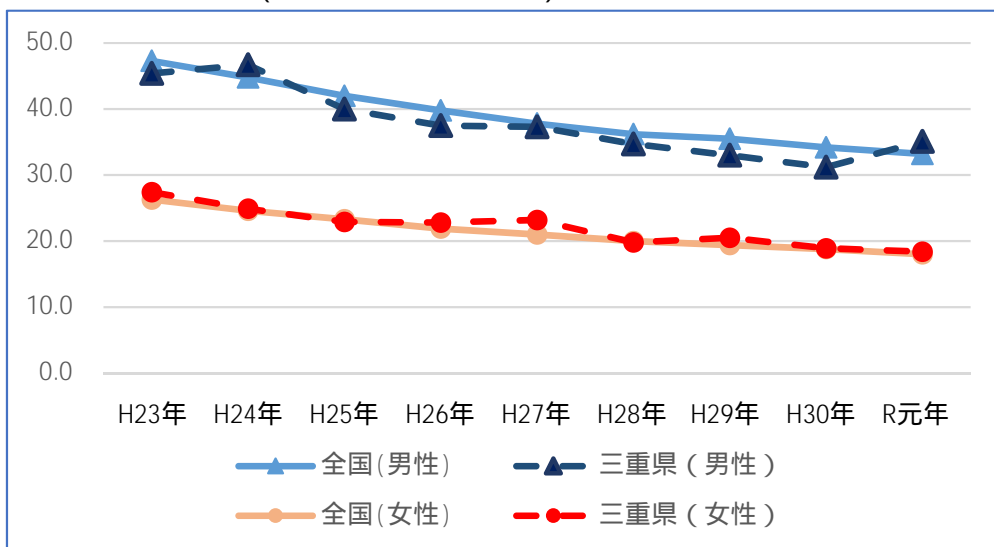


循環器病
22.9%

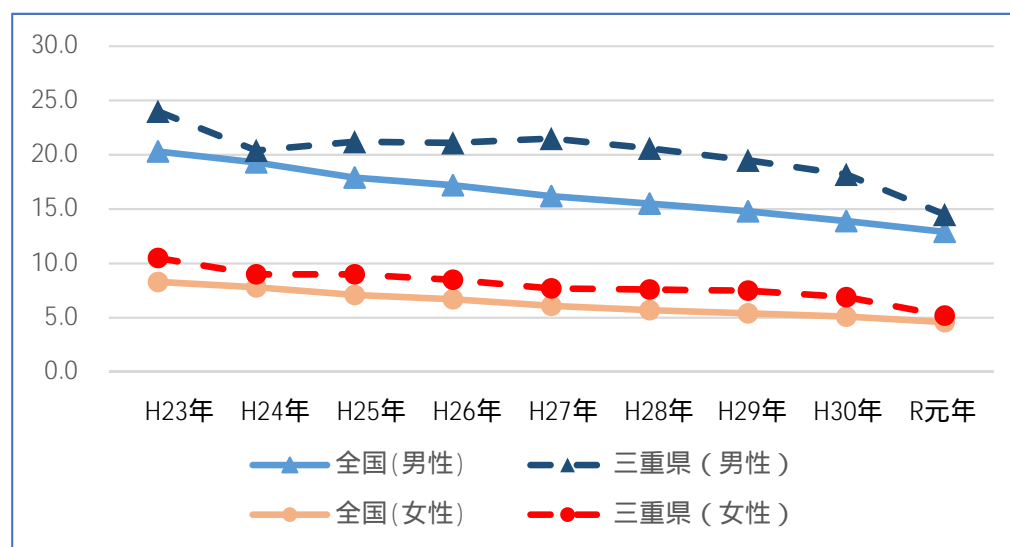
2.循環器病における年齢調整死亡率

心不全は横ばい傾向にあるが、総じて循環器病の年齢調整死亡率は減少傾向にある。
男性と女性を比較した場合、男性の死亡率が高い疾患である。

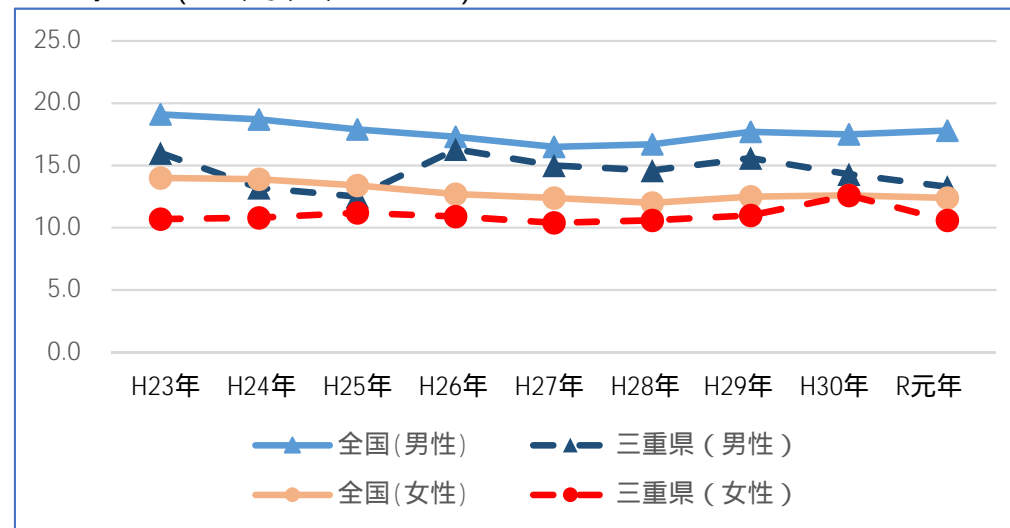
脳血管疾患(10万人あたり)



急性心筋梗塞(10万人あたり)



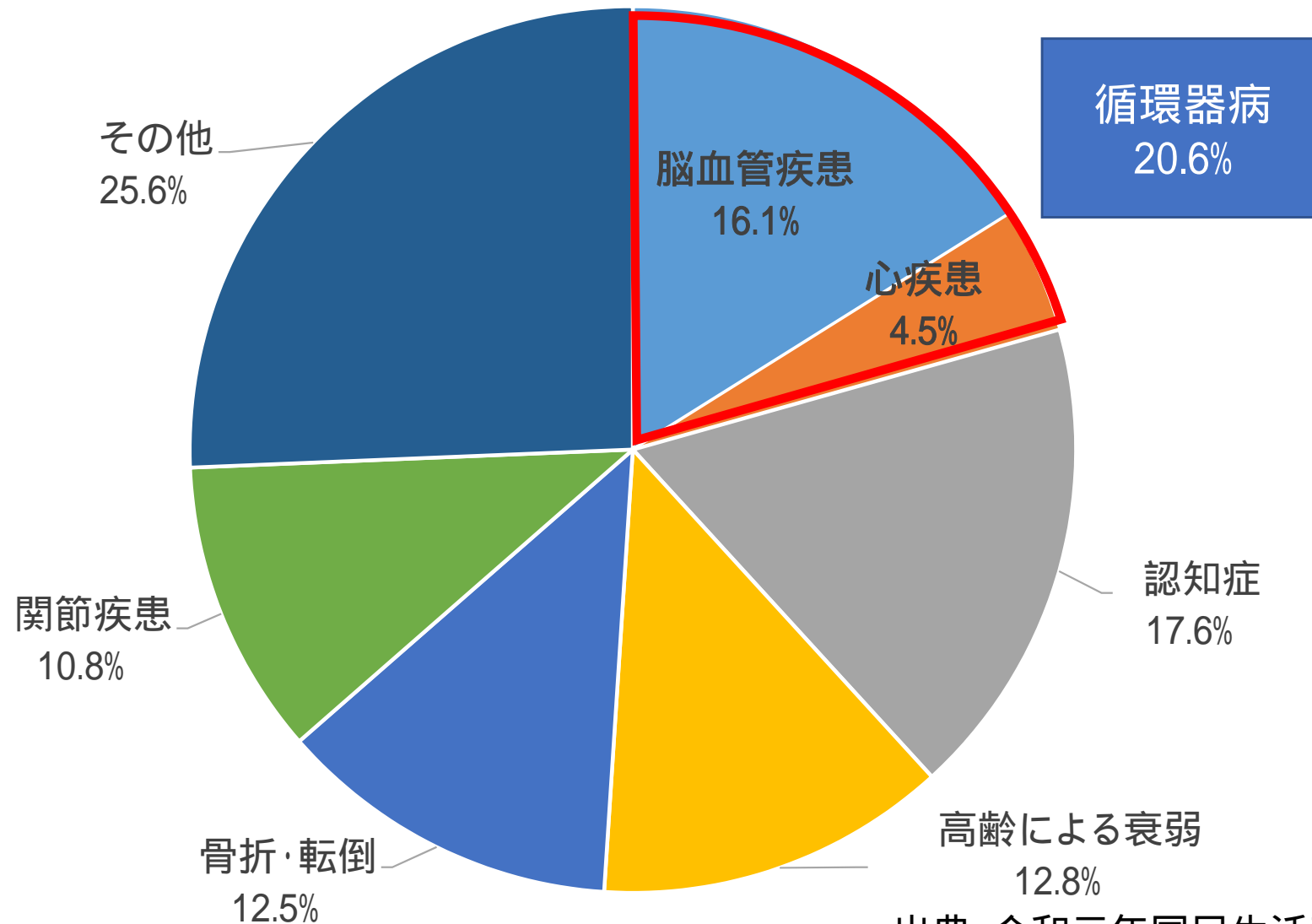
心不全(10万人あたり)



3.介護が必要となった主な原因の割合（全国）

脳血管疾患が16.1%、心疾患が4.5%であり、両者を合わせた循環器病は20.6%と、介護が必要となった原因に占める割合は最多である。

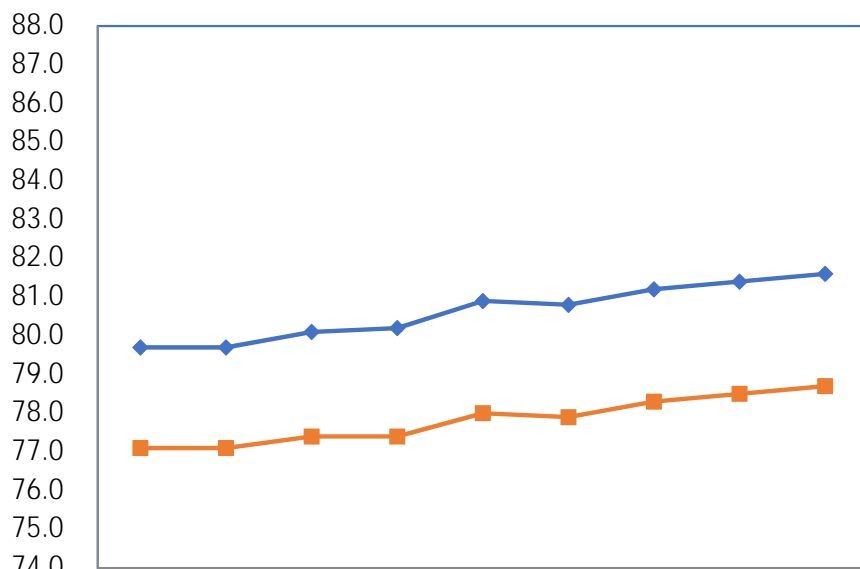
2019(令和)元年 介護が必要となった主な原因の構成割合(全国)



4.三重県の健康寿命と平均寿命の推移

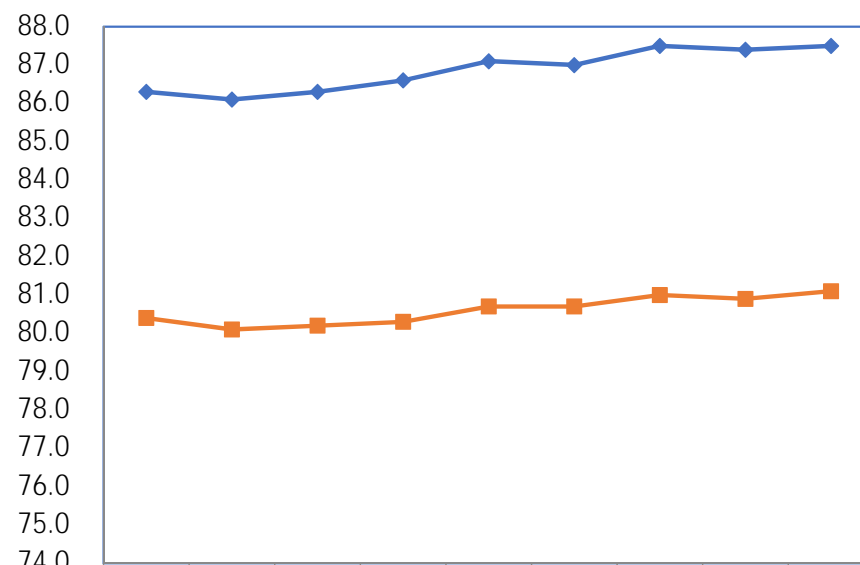
- 平成22年から30年については、男女ともに、
- 健康寿命と平均寿命は概ね延伸している。
 - 健康寿命と平均寿命の差は概ね横ばいで推移している。

健康寿命と平均寿命の推移（男性）



	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
平均寿命	79.7	79.7	80.1	80.2	80.9	80.8	81.2	81.4	81.6
健康寿命	77.1	77.1	77.4	77.4	78.0	77.9	78.3	78.5	78.7

健康寿命と平均寿命の推移（女性）



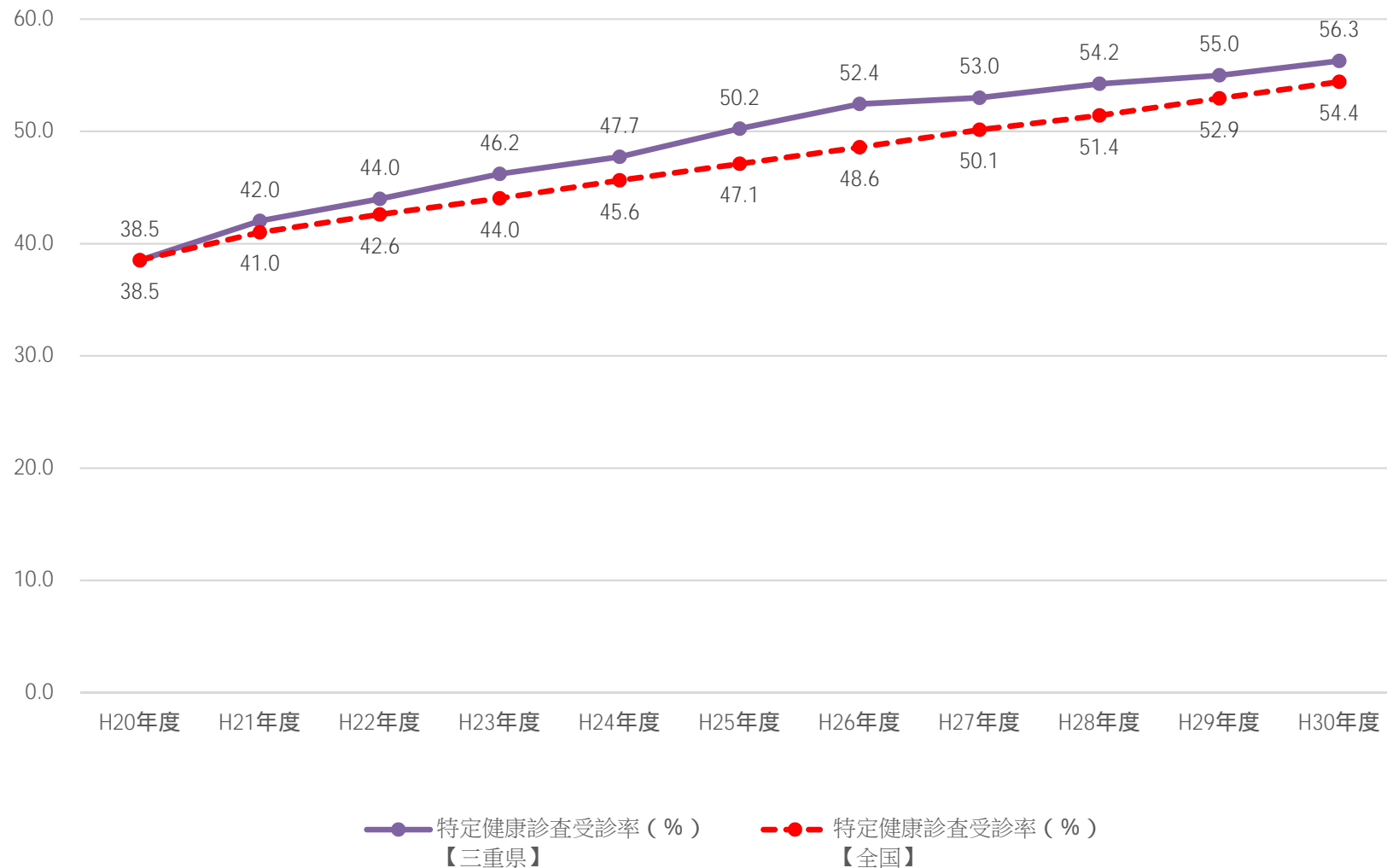
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
平均寿命	86.3	86.1	86.3	86.6	87.1	87.0	87.5	87.4	87.5
健康寿命	80.4	80.1	80.2	80.3	80.7	80.7	81.0	80.9	81.1

5. 特定健康診査受診率の推移

平成20年度から平成30年度の特定健康診査受診率は、全国・三重県とも右肩上がり
推移している。

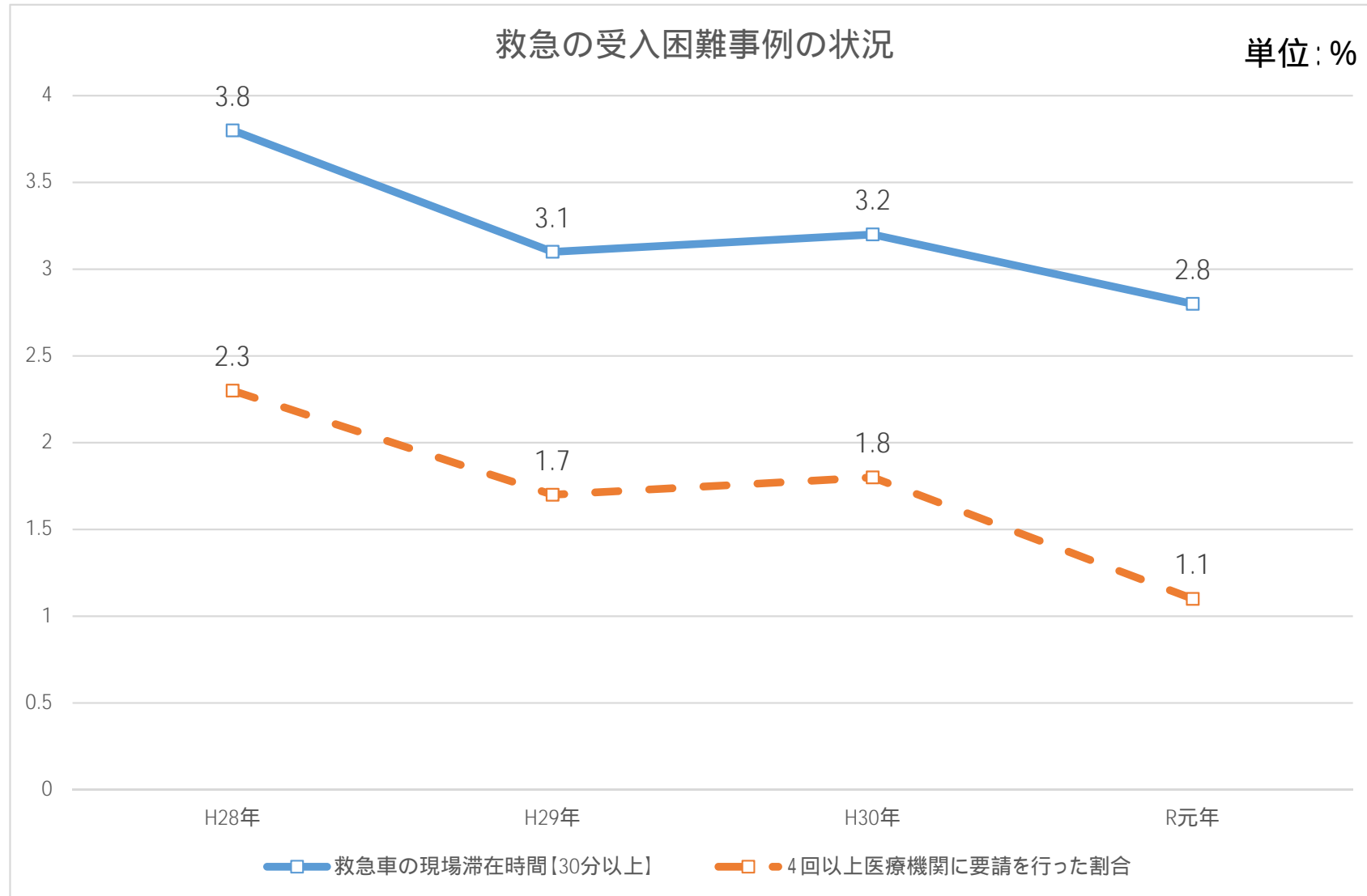
しかし、三重県の受診率は平成30年度で56.3%であることから上昇余地は残されている。

特定健康診査受診率



6.三重県の救急における受入困難事例の状況

救急搬送に占める受入困難事例の割合は、「救急車の現場滞在期間【30分以上】」
「4回以上医療機関に要請を行った割合」とともに減少傾向にある。



7.三重県のリハビリテーションの実施状況

脳血管疾患リハビリテーションは、三泗構想区域や津構想区域で総件数、人口10万人あたり件数とも多い。

心疾患リハビリテーションは、津構想区域や伊賀構想区域で総件数、人口10万人あたりの件数とも多い。

脳血管疾患リハビリテーション実施件数(令和元年度)
(レセプト件数)

心疾患リハビリテーション実施件数(令和元年度)
(レセプト件数)

